

SGH 通信

高知県立高知西高等学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号

TEL 088-844-1221 / FAX 088-844-4823

H28. No. 7

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/nishi-h/>

～夏休み期間中の取組～

2016.9.27

大阪リサーチが行われました

8 月 1 日（月）、2 日（火）大阪リサーチが行われ、生徒 21 名が参加しました。普段はなかなか訪れることのできない場所を訪問し、そこで活躍されている方々と直接お話することができ、大変有意義なリサーチ活動になりました。

高知県大阪事務所 高知県地産外商公社

高知県商品を関西・中部圏で売り込む高知県地産外商公社を訪問し、観光課、農業振興部、商工課から高知県の抱える課題やその課題解決に向けた取組などをお聞きしました。2060 年には 39 万人にまで減少する高知県の人口問題をはじめ、天敵農法を活用した農産物の P R 不足、来年度開かれる歴史博覧会との相乗効果をどう図るかなど、様々な学びがありました。



大阪大学法学部 北村亘教授による講義

大阪大学の法廷教室にて行政学を専門とされる北村教授から、地域振興と高知県の現状と今後の予測についての講義がありました。

具体的には、高知県の人口問題と限界集落について、駅前再開発後の問題点について、商店街衰退の兆しは何からか？、地域産品の高付加価値化の成功事例についてなど、多くの参考文献の提示とともにお話をいただきました。

サントリー・グローバルイノベーションセンター

イノベーション創発部の山本憲司さんから、サントリーの歴史やこれから力を入れていく事業についてお話がありました。「R & D（研究開発）がサントリーの命。毎年 1000 以上の新商品が開発されるが残るのは 3 つほど。しかし、新しいことに常に“挑戦”し続けなければ生き残れない。」と厳しい現実とやりがいのある仕事について熱く語ってくださいました。その後、設備が整った研究室やデザイン性が豊かなミーティングルームなどを見学させていただきました。



大阪・神戸米国総領事館

ブルック・スペルマン領事から、総領事館の取組についてお話いただきました。その後の質疑応答は基本的に英語で行われ、全員が質問をしました。領事は一つ一つに丁寧に答えてくださり、西高生と交流を深めていきました。また、領事からは、ご自身の留学経験が自信につながっており、留学して外国を知ることは、その後のどんな仕事にもプラスになるというメッセージをくださいました。

～生徒の感想より～

・大阪事務所の方々の話を聞いて気づいたことは、人口減少がおこす負のスパイラルについてです。労働者が県外に出ていくので生産量が減り経済の規模が小さくなっていき、それによってまた若者が県外に出ていってしまうので、どこかで止めなければいけないと思いました。経済の規模を大きくすれば高知を出て行った人のリターンもみこめると気づきました。

・アメリカ総領事館では、高知の知名度の低さを改めて感じました。ブルック・スペルマンさんのアメリカの話聞き、留学にも興味をもちました。

オーストラリアリサーチ

Australia Research

7月23日～8月10日

7月23日、生徒11名が高知龍馬空港を出発し、オーストラリア、タスマニア州ホバートを訪れ、2週間本校の姉妹校のフレンズ校に通いました。そして、2日間は企業などを訪問し、食の安全性や経営方針について学んできました。



Royal Tasmanian Botanical Gardens

入園料を払う必要はありませんが、希少な植物の種を保存したり、繁殖させるための自然保護活動のために寄附箱があります。生徒たちはそれぞれのお財布から寄附をしていました。



Apple shed

農園主の Andrewさんから彼のりんご農園の歴史や経営理念について説明してもらいました。値段は高くなるけれど、身体のことを考える人からの需要があり、近々中国にも輸出するそうです。



Puddleduck Vineyard

ファミリーで経営している農園。この後ろの鳥が虫を食べてくれるので、この農園は化学薬品を使用する必要はないそうです。

Coal River Farm

家畜や果樹をどんなふうに育てているか、カフェで提供するもの、材料がどこから来ているかなどを説明してもらいました。



Wicked Cheese Factory

ここで売っているチーズは近所で飼育される牛乳が使用されています。

Richmond town

小さなお店がたくさん集まっている静かな街です。週末にはたくさんの人で賑わうそうです。

